

ちひろ 人権コンサート

～金子みすゞの心・
マザーテレサのメッセージ～

童謡詩人金子みすゞの詩に曲をつけ、歌い語る活動を全国各地で行い今年15周年。

パーソナリティを担当したエフエム山口特別番組「こだまでしょうか～今、金子みすゞの心を聴きたい～」が、第7回日本放送文化大賞ラジオ部門準グランプリを受賞し全国放送となった。

宇部フロンティア短期大学客員教授。
金子みすゞと同郷の山口県出身。



ちひろさん
(歌手・作曲家)

とき 3月3日(土) 14:00～
ところ 下山門公民館



童謡詩人 金子みすゞ

(写真提供:金子みすゞ著作権保存会) ※詩の出典は「金子みすゞ童謡全集」(JULA出版局)より

私と小鳥と鈴と

私が両手をひろげても、
お空はちつとも飛べないが、
飛べる小鳥は私のように、
地面(じべた)を速くは走れない。

私がかからだをゆすつても、
きれいな音は出ないけど、
あの鳴る鈴は私のように、
たくさんな唄は知らないよ。

鈴と、小鳥と、それから私、
みんなちがつて、みんないい。

入場無料

元気で明るく住みよい街
づくりは、みんなの願い
です。

皆様お誘い合わせの上、
お気軽にお越しください。

本名金子テル。明治36(1903)年、山口県大津郡仙崎村(今の長門市)に生まれる。大正末期から昭和の初期にかけて、すぐれた童謡詩を発表し、西條八十に「若い童謡詩人中の巨星」とまで称賛されながら、昭和5(1930)年、26歳の若さで世を去った。童謡詩人・矢崎節夫の長年の努力によって512編の遺稿がみつきり、没後50余年を経て、全集として出版された。平成15(2003)年4月には、みすゞ生誕100年を記念して、長門市立「金子みすゞ記念館」が開館。全国からみすゞファンが訪れ、感動を新たにしている。

主催:下山門校区人権尊重推進協議会